



Southern Cross 2017



The Japanese School in Perth
パース日本人学校



6月2日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: info@japaneseschool.wa.edu.au

共に知恵を出し合いながら

校長 吉崎潔

パースの街で道に迷っていると、通りすがりの方が声をかけてくださいます。見知らぬ人でも挨拶をしてくださいます。オーストラリアの人って、親切なのだなあと思います。

同様に私たち日本人にも良いところがあると思います。努力、勤勉、道徳心など、誇れることがいっぱいあるのではないのでしょうか。

どの国の人にもそれぞれの良さがあるように思います。

ところで、国によって様々な良さがあるように、人それぞれにも違う良さがあると思います。児童生徒の皆さんにもそれぞれの良さがあります。自信を持っていいのです。

違う者同士、その良さの違いをお互いに認め合うことが大切ですよね。そこをもう一步踏み込んで考えてみましょう。

砂糖に砂糖を混ぜても甘い砂糖でしかありません。けれども、おしるこをつくる時に砂糖にちょっと塩を加えると甘みに深みが生まれます。

同じ意見同士のもものが集まると、その集団の意見からなかなか脱しにくいものです。でも、違う者同士が相手の意見を否定することなく、互いの人格を認め合うという前提に立って、お互いの意見を述べあうと、今まで「自分にはなかった」「気が付かなかった」より高い素晴らしい結論に出会う可能性が広がるのではないのでしょうか。

相手を否定するのではなく互いを認め合うということは、容易いことではありません。しんどいことかもしれませんが、これからの社会は異文化共生社会となり、ますます共創型対話の重要性が求められてくるような気がしてなりません。

5月19日に City Beach Primary School の Grant校長先生が来校し、学校の様子をご覧になっていきました。City Beach Primary School とは来年4月から一緒に敷地内で学校生活を送る予定です。違うもの同士と一緒に学校生活を送るようになるのです。パース日本人学校の歴史を振り返れば、スカボロ小学校の敷地内で学校生活を送っていたことがありました。その時の流れから、今でもスカボロ小学校と一緒に運動会を行っています。でも、来年4月からは、今までの例にないほど近い関係を City Beach Primary School と築いていくこととなります。

輝かしい未来のある子どもたちのために、新しいパース日本人学校創りに皆様の力をお貸しください。時には大きな課題に出会うことがあるかもしれませんが。そのときに「厄介なことと思う」か「前向きに解決策を探ろうとする」か、その心の持ち方次第で課題の見え方・捉え方が違ってくるような気がしています。皆様のご支援をよろしく願いいたします。

※今後、City Beach Primary School との話し合いや工事の進捗状況をお知らせしていきます。

授業参観・学級懇談会・PTA 総会

5月5日（金）に授業参観・学級懇談会を行い、その後兵庫文化交流センター会議室にて前期PTA総会を開催いたしました。平日のお忙しい時間帯にもかかわらず、多く保護者の方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。

4校時の授業参観では、新年度がスタートし、少し緊張しながらも生き生きと学習に取り組むお子様の姿をご覧いただけたかと思います。

学級懇談会では、担任から学校の基本的な考えや学級の経営方針等説明をさせていただきました。

PTA総会では、①2017年度PTA活動計画案②2017年度PTA活動予算案③PTA会則変更案の3つの提案があり、可決されました。また、総会後の懇親会では楽しい会話に花を咲かせていました。今後とも、PTA活動への積極的なご参加をお願いいたします。



がんばりました！マラソン大会



5月26日（金）マラソン大会が行われました。児童生徒は、体育の授業でマラソン大会に向けて練習に励んできました。本番では、自分で立てた目標を達成しようと一生懸命頑張る姿を見ることができました。保護者の皆様や友達の温かい声援・励ましに背中を押され、参加者全員が最後まで全力で走り切りました。

優勝おめでとう！各距離の優勝者

距離	男女	学年	優勝
1000m	男子	2年	ツサリス匠
	女子	1年	三村 悠夏
1500m	男子	5年	佐々木 直輝
	女子	3年	石川 実侑
3000m	男子	中1	福村 優
	女子	中1	佐々木風佑佳



佐藤有香さんがやって来た！

6月2日（金）フィギアスケーターで元オリンピック代表、世界選手権覇者の佐藤有香さんが、西豪州アイススケート連盟の招待でパースを訪れました。ご本人の強い希望で日本人学校に来校され、お話ししてくださいました。今回のアイススケートショーのパートナー、ジェレミーアボットさんも一緒に来て下さり、2人をよく知らなかった子ども達も、VTRを観て演技のすごさに歓声をあげていました。また、子ども達の素朴な質問にも丁寧に答えて頂き、短い時間でしたが、中身の濃いお話を伺うことができました。

JSPよもやま話



「その気になればなんでもやれる」

先生の知っている女の子なみちゃんのお話です。彼女は音楽が大好きでした。もっと難しい曲にも挑戦したくなりました。ピアノがあれば弾けます。でも、彼女の家にはピアノもキーボードもありません。買って貰いたいけれど、彼女のために買ってあげるほどの余裕はありませんでした。ななみちゃんは、あきらめませんでした。どうしても、ピアノでいろいろな曲を弾きたかったからです。彼女がやったことです。

- ① 休み時間に、学校のピアノで練習しました。ピアノを弾くことができるととても嬉しかったのですが、物足りません。楽譜は先生にお願いしてもらうことができました。
- ② 家でも練習を始めました。お家にはピアノやキーボードはないのですよ。

6年生の時には、彼女はとうとう学校代表の合唱コンクールのピアノ伴奏者に選ばれました。自分で「鍵盤」の絵を描いて、楽譜通りに指を動かして練習していたそうです。音は出なくても、イメージをしながら練習していたそうです。あきらめるのはとても簡単ですが、自分ができる精一杯の努力をしてください。そうすれば、ななみちゃんのようにできるはずですよ。（セレンザ）